



OPEN STM[®] Edition 6 製品ロードマップ (v6.5以降)

最終更新日：2026年6月24日
オーエスエスブロードネット株式会社

従来型監視方式の限界と市場需要の構造的な変化

DOCSISメインから、HCNA・FTTH・FWA等様々な伝送技術への混在形態へ

同軸線路部分の減少による「系統分析 & 障害源推定」「PNM高度化 & 分析強化」への需要低下

CATV監視から、電力やスマートホーム等様々なIoTパターンに応用可能な汎用監視基盤へ

ルールベースの原因特定ツールから、マルチモーダルAIによる運用改善推奨ツールへの需要の変化

対応すべき要素技術

BI/AI : 独自の分析ロジックからマルチモーダルAIを積極的に活用するアプローチへの方針転換

DOCSIS 3.1/4.0 : OFDM/OFDMA対応、低遅延DOCSIS対応

無線 : Wi-Fi6/6E/7対応、ローカル5G対応

FTTH : DPoE対応

プロビジョニング : 新伝送技術対応、監視系との統合、クラウド対応

基本アーキテクチャーの変更

時系列分析に対応したデータベース/レイクの採用とAIによる解析機能の抜本的な強化

監視指標数の大幅拡張（20弱から最大300へ）と各種自律調整機構の充実

マルチテナンシー対応の強化

「ビジネスインテリジェンス」(BI)

多指標・短周期・長期間の大規模時系列履歴情報（大量データ）を様々な角度から多変量解析
日々大量に発生するアラームイベントの自律的な優先順位付けと消込による応動業務の効率化

「AI応用」(AI)

通信機能の自律調整機構による低負荷・短時間での情報収集

DOCSISやWi-Fi、5G等、通信プロファイルが動的に変化する伝送メディアにも柔軟に対応

端末リセット等の各種業務・操作を各種の「ジョブ」としてライブラリ化、個別事業者の運用ルールに応じ、複数「ジョブ」の実行順&分岐判断を「ワークフロー」として定義・設定、人が行う業務の多くを自動化

マルチモーダルAIによる状態履歴、障害イベント履歴、及び、その後の操作・作業履歴を入力としたジョブ・ワークフローの自律生成・修正

「NMS統合」(NMS)

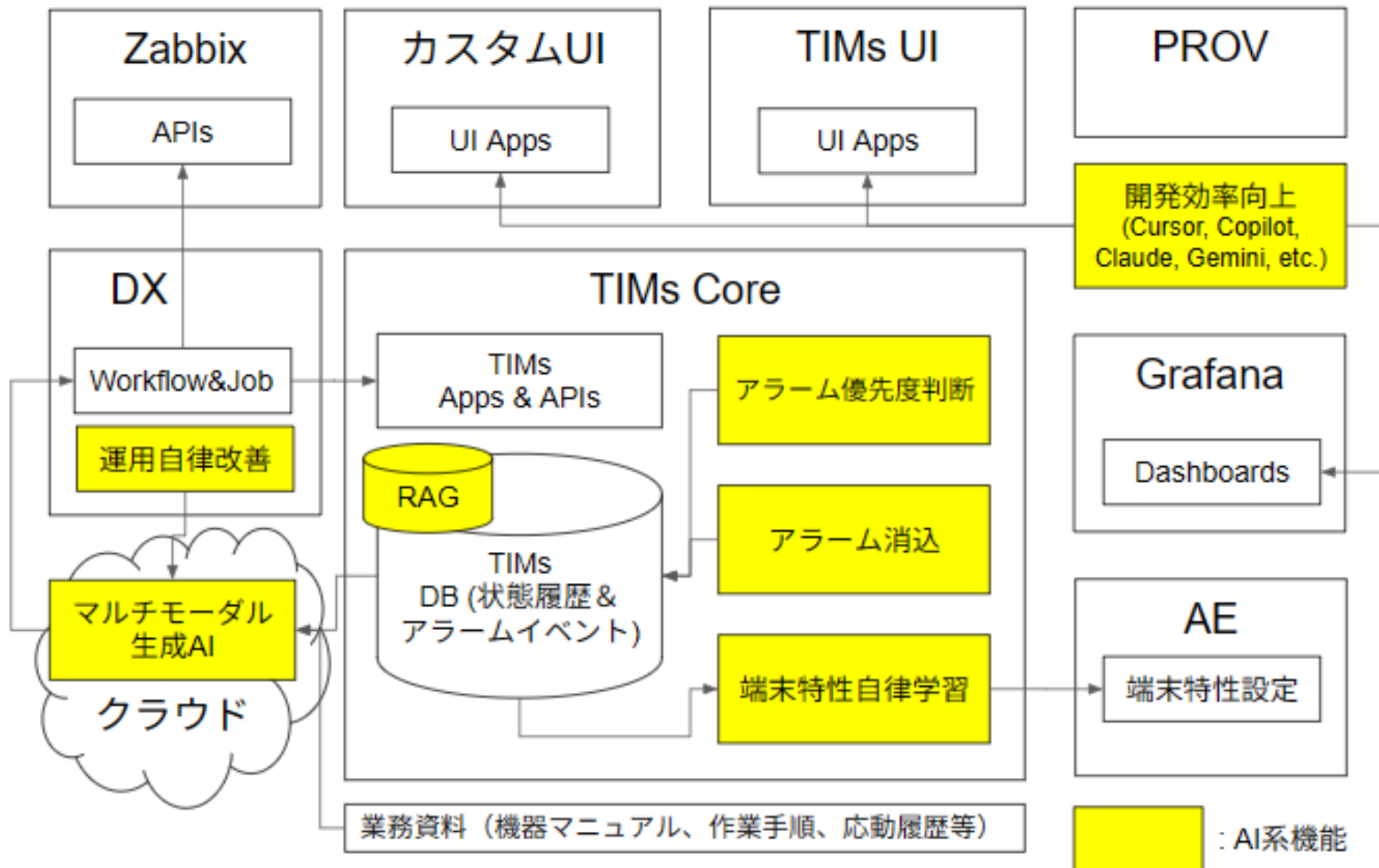
Zabbix等、各種オープンソースNMSとの連携強化

「ノーコード、ノーコード開発」

高度なプログラミングスキルなしにUIを簡単に作成・修正

パワポ、Excel、PDF等の図表やテキストを設計書相当とし、業務アプリをAIで簡単開発

AI系機能の強化箇所・方針



➤ 運用自律改善

- 月次・年次等の長周期、或いは画面からの手動起動によりAIを呼び出し、TIMsに蓄積された状態履歴&アラームイベント&応動記録、及び、各種業務資料（機器マニュアル類、作業指針・記録等）を入力として、DXのジョブ&ワークフローを自動生成・更新する。
- 本機能により、状態&応動履歴や作業記録の蓄積量に応じ、DXの既存ジョブ&ワークフローが自律的・継続的に改善され続ける。
- DXの新規導入時、事業者の各種業務資料を入力とする事により、ジョブ&ワークフローのたたき台相当が自動的に作成され、導入初期の人的コストが削減される。

➤ アラーム優先度判断・消込

- 「運用自律改善」の応用例。本応用例により、大量アラームへの優先度付与、即時対処が不要なアラームへの消込フラグ付与、複数の同義アラーム集約、誤報判断が可能なアラームへの消込フラグ付与、等の自動操作を行うジョブ&ワークフローがDXに自動生成・更新される。
- 状態情報の収集・判断と同周期・頻度で、上述の自律動作により作成・更新されたDXのジョブ&ワークフローが継続的に自動実行され、アラーム履歴に優先度&消込フラグが付与され、TIMs、カスタムUI、Zabbix上で、低優先度のアラーム出力・通知・表示が抑制・集約される。
- 大量アラームの自動消込・集約により、続く応動業務が効率化され、関連する人的・システム的なコストが削減・合理化される。

➤ 端末特性自律学習

- 週次、或いは、画面からの手動起動により、特定端末機種が無応答率が予め設定した閾値がある時点から継続的に超過する事象を検知する。
- 超過事象の検知時、AEの収集周期の空きタイミングで、AEが自律的に特定端末機種・ソフトウェアバージョンへのProfilingを自動実行し、対象機種・ソフトウェア固有の通信特性、例えば、SNMP Get/GetBulkの1PDU当たりのOID数やリトライ間隔・回数等、通信時間と安定性に大きく影響する各種の通信パラメーターを自動調整する。
- 本機能により、新機種追加、或いは、既存機種のソフトウェア更新に伴う挙動・特性の変化に応じたAEの端末特性設定が自律的・継続的に更新され続ける。
- 端末特性評価・設定作業の自動化により、係る人的コストが削減されると同時に、AEの設定調整不足による無応答率の徒な上昇を未然に防げる。

TIMs Core/UI & DX

6.5 (2026Q4)

R-PHY/R-MACPHY管理 (自律検知・登録)

6.6 (2027Q2)

アラーム優先度判断・消込 (AI系機能)

6.7 (2027Q4)

運用自律改善 (AI系機能)

6.8 (2028Q1)

端末特性自律学習 (AI系機能)

AE

6.8 (2028Q1)

端末特性自律学習

Zabbix連携オプション

6.5 (2026Q4)

R-PHY/R-MACPHY管理 (自律検知・登録)

AE光拡張モジュール

6.4 (2025Q3~)

OLT/ONU状態収集

質問・問い合わせ

productsales@ossbn.co.jp

まで